

## 平成 24 年度 滋賀県がん診療連携協議会・第 3 回企画運営委員会 議事概要

日 時：平成 25 年 3 月 4 日（月）午後 6 時～午後 7 時 30 分

場 所：滋賀県立成人病センター東館講堂

出席者：成人病センター（鈴木副院長）、

滋賀医科大学医学部附属病院（醍醐腫瘍センター長、奥村課長補佐）、

大津赤十字病院（大野副院長、水野課長）、公立甲賀病院（沖野副院長、小嶋課長）、

彦根市立病院（寺村副院長、廣瀬課長）、市立長浜病院（神田副院長、山岸係長）、

滋賀県健康福祉部健康長寿課（大林課長 ※代理）、緩和ケア推進部会長（成人病センター 堀院長補佐）、がん登録推進部会長（成人病センター 樋口室長）

事務局：成人病センター（医事課地域医療サービス室 田中参事、医事課 田中参事、経営企画室 谷本主任主事）

欠席者：成人病センター 那須事務局長、滋賀県健康福祉部 角野次長、診療支援部会長（滋賀医大 藤山教授）、研修調整部会長（滋賀医大 谷教授）

オブザーバー：滋賀県健康福祉部健康長寿課 奥井副主幹

### 1 滋賀県がん対策推進計画案について

- ・県健康長寿課から、パブリックコメントを終えた第 2 期滋賀県がん対策推進計画について説明があった。

### 2 滋賀県がん診療連携協議会のこれまでの取組の総括について

- ・事務局から、資料にもとづき、平成 21 年度から 4 年間の協議会および部会の取組の成果および今後の課題について説明があった。
- ・在宅緩和ケア推進が課題であるとの意見があった。
- ・平成 25 年 4 月から滋賀県統一の前立腺がんパスが運用される旨の報告があった。
- ・緩和ケアパスは、積極的治療をやめた患者さんを対象とする方向であるとされ、その際、家族のサポートが重要であるとの意見があった。
- ・各圏域および全県で医療情報ネットワークが構築されることから、地域連携クリニカルパスについては、電子化を検討すべきであるとされた。
- ・医療機関の役割分担については、行政主導で行うべきであるとされた。

### 3 平成 25 年度以降の協議会の取組について

- ・事務局から、資料にもとづき、平成 25 年度以降の協議会の取組について、PDCA サイクルで検証可能とするために、アクションプランを策定して行うことを協議会に提案する旨の説明があった。
- ・在宅がん医療およびがん検診等の啓発の 2 点が特に取組が必要であるとされた。
- ・各部会の編成・所掌事務の見直しについては国の「がん診療提供体制のあり方検討会」の議論をふまえて対応することとされた。
- ・協議会に係る事務を調整するために、事務担当者会議を創設することにつき、協議会に提案する旨の説明があった。
- ・部会等開催に必要な経費について、第 1 回部会後に協議会事務局に報告いただくこととされた。

#### 4 滋賀県がん医療フォーラムの開催結果について

- ・事務局から、資料にもとづき、第4回がん医療フォーラムの結果について、250名の参加があり、好評であった旨の報告があった。